

旅 人よいづくにゆくや
はてしなく道はつづけり大空の下

京 をロマンチックの
都とすれば

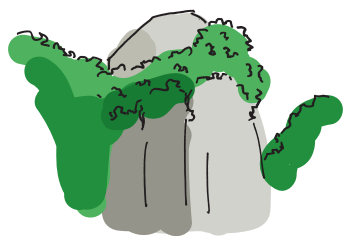
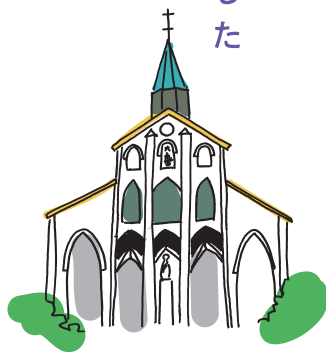
奈良はクラシツクな都である



又^{また}旅に出たく

相^{あい}成^なり候^{そうろう}。

長崎は好い所ですね
大に感心しました



昇^{しやう}

仙^{せん}峡^{きやう}は

流^{さす}石^がにいい

特設展



芥川龍之介 生誕130年

旅の記憶



明日は雨のふらない限り出発する予定である

2022年 4月23日(土) — 6月19日(日)

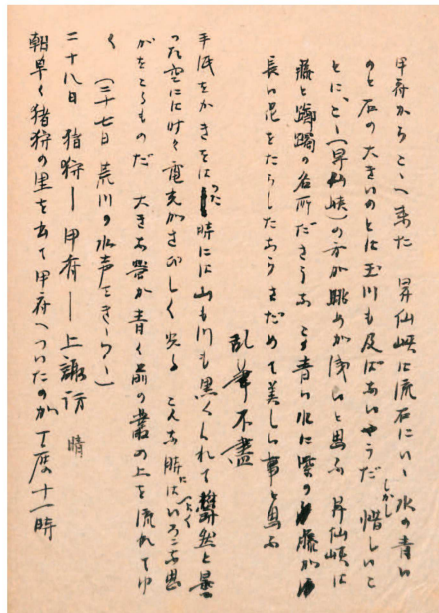


そのことばのつづきへ

山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum of Literature

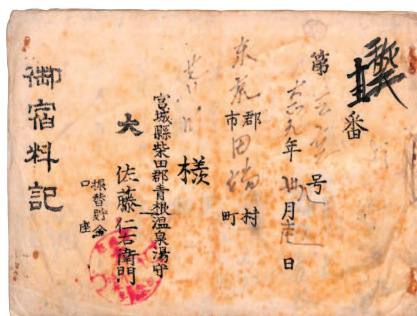
「羅生門」や「河童」など近代小説の名作で知られる芥川龍之介(1892~1927)は、旅が好きで、北は北海道から南は九州まで足を運んでいます。また、当時としては珍しく海外にも旅行し、中国各地を訪れました。中学時代の徒歩旅行、松江への傷心旅行、東北・北海道への講演旅行など目的は様々でしたが、各地での見聞は芥川的生活や作品に影響を与えました。当館の芥川コレクションを中心に、芥川の旅の軌跡をたどります。



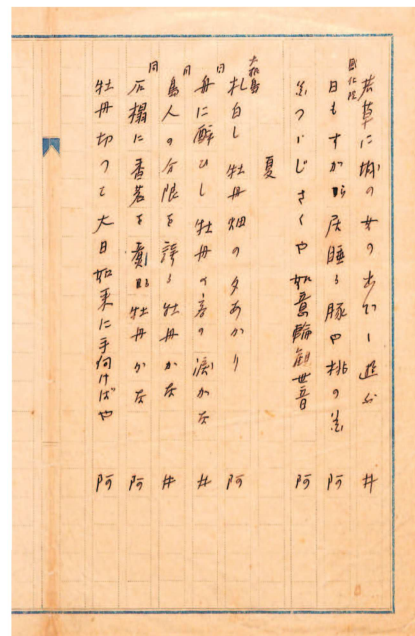
芥川が中学校4年生・16歳の夏休みに書いた日記
1908(明治41)年7月24日に東京を出発、26日に甲府に泊まり27日に昇仙峡を訪れた。「この青い水に紫の藤が長い花をたらしならさだめて美しい事と思ふ」と友人に手紙を書いたことを記している。



中国を訪れた際に 左が芥川、右は評論家の竹内逸。
提供 日本近代文学館
1921(大正10)年3月から約4ヶ月にわたり、大阪毎日新聞社の海外視察員として中国各地を訪問。帰国後「上海遊記」等を発表した。



◎初展示
1920(大正9)年8月、宮城県青根温泉に約1ヶ月逗留した時の「御宿料記」
「御飯肴合 五銭二厘」「サイダー四本 壱円四十銭」など毎日の会計が記されている。滞在中、「中央公論」9月号掲載のための原稿(「お律と子等」)執筆に励んだが、間に合わず10月号に掲載となった。



◎初展示
芥川が書いた松江での見聞を読みこんだ俳句草稿
1915(大正4)年8月、家族に反対されて吉田弥生との結婚をあきらめた芥川を慰めるため、親友の井川恭(いかわ きょう)が芥川を故郷の松江に招き、約3週間を共に過ごした。「井」は井川、「阿」は芥川の作。



常設展の芥川コーナーもご覧ください。

関連イベント ワークショップを除き参加無料 定員になり次第申込を締め切ります。

- ◎講演会 芥川龍之介の講演旅行 ― 紀行文「東北・北海道・新潟」をめぐって
講師: 庄司達也(横浜市立大学教授)
5月21日(土) 13:30~15:00 会場: 講堂 定員: 150名
*4月23日(土)より電話でお申し込みください。
- ◎年間文学講座2 芥川龍之介による切支丹物
講師: 大村梓(山梨県立大学准教授)
6月4日(土) 14:00~15:30 会場: 研修室 定員: 40名
*5月21日(土)より電話でお申し込みください。
- ◎映画会「羅生門」 原作: 芥川龍之介 1950年 大映 88分
監督: 黒澤明 出演: 三船敏郎、森雅之、京マチ子 他
6月5日(日) 13:30~ 会場: 講堂 定員: 150名
*5月22日(日)より電話でお申し込みください。

- ◎ワークショップ 消しゴムはんこで「河童」を描こう!
講師: アオヤギルミ(消しゴムはんこ作家)
5月29日(日) 10:00~11:30、14:00~15:30
会場: 研修室
定員: 午前・午後各15名(小学校4年生以上)
材料費: 500円
*4月26日(火)より電話でお申し込みください。
- 閲覧室資料紹介「芥川龍之介再発見」
様々な角度から芥川の魅力を知ることのできる図書や関連資料を紹介。資料は手に取ってご覧いただけます。
4月23日(土)~6月19日(日) 場所: 1階 閲覧室 *入場無料

休館日=月曜日(5月2日は開館)

開館時間=展示室/9:00~17:00(入室は16:30まで)

閲覧室/9:00~19:00(土・日・祝日は18:00まで)

観覧料=常設展観覧料でご覧いただけます。

一般330円(260円) 大学生220円(170円)

※()内は20名以上の団体料金・県内宿泊者割引料金です。

※高校生以下の児童・生徒、65歳以上の方、障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料です。

※新型コロナウイルス感染症予防対策として、ご入館の際にはマスクの着用、検温、手指の消毒、チェックシートの記入をお願いします。

※展覧会、関連イベントが変更・中止となる場合があります。
当館ホームページで最新情報を確認ください。

そのことばのつづきへ
山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

〒400-0065 甲府市貴川1-5-35
TEL.055-235-8080 FAX.055-226-9032
<https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>

交通のご案内

JR中央本線甲府駅より

- 甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勅使・竜王駅経由敷島営業所・大草経由韮崎駅・貴川団地各行きバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
※甲府駅からのバスの時刻表は(山梨交通HP)よりお調べいただけます。
- タクシーで約15分。

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

- 料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て、200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貴川交番前交差点を左折、国道52号を約1km、左側。

公式SNS

